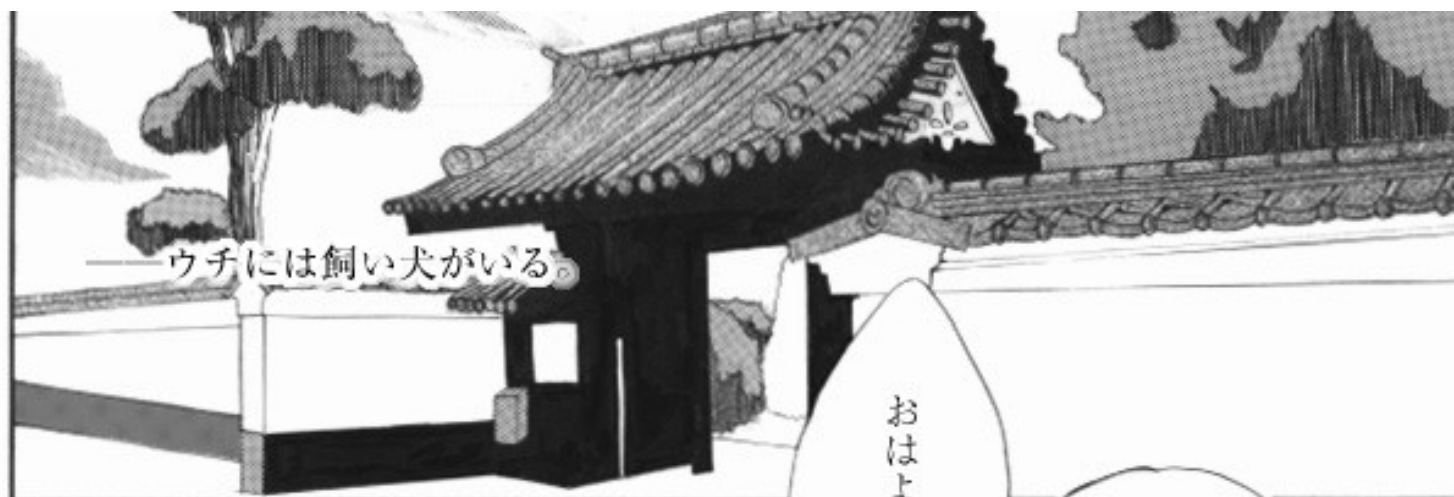




ウチには飼い犬がいる。



おはよう



遅いですよ

おはよう  
ございます  
お嬢様



おはようございます  
お嬢様

とても美しい犬が...



舞

口を  
慎みなさい



何よ其の瞳

本当に貴方の  
お父様そっくりね

私の従弟の諒は  
一年前 この本家に  
引き取られた



…はーいっ

…学校  
いってきまーす



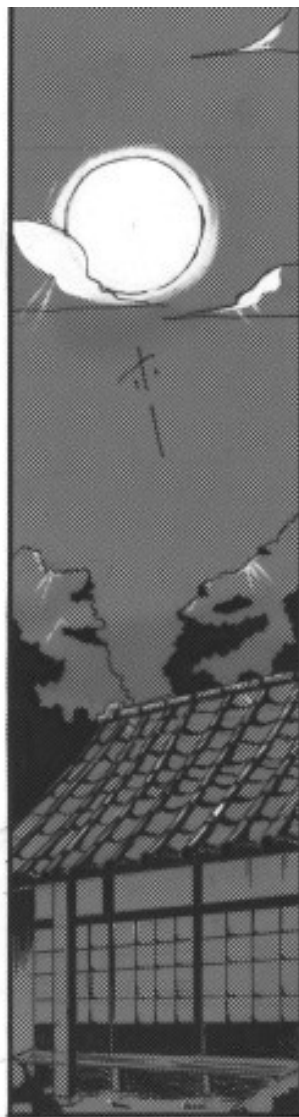
あの男の事など  
口にしては  
なりません

倉橋の名が  
汚れます

彼の父親が  
殺人犯として  
捕まったからだ

あいつはお情けで  
拾われた野良犬の  
ようなものだ

…そう思っていた  
あの時まで



喉  
乾いたなあ



イヌ

人の話し声…?

…何?

えい、おん

ヒソ

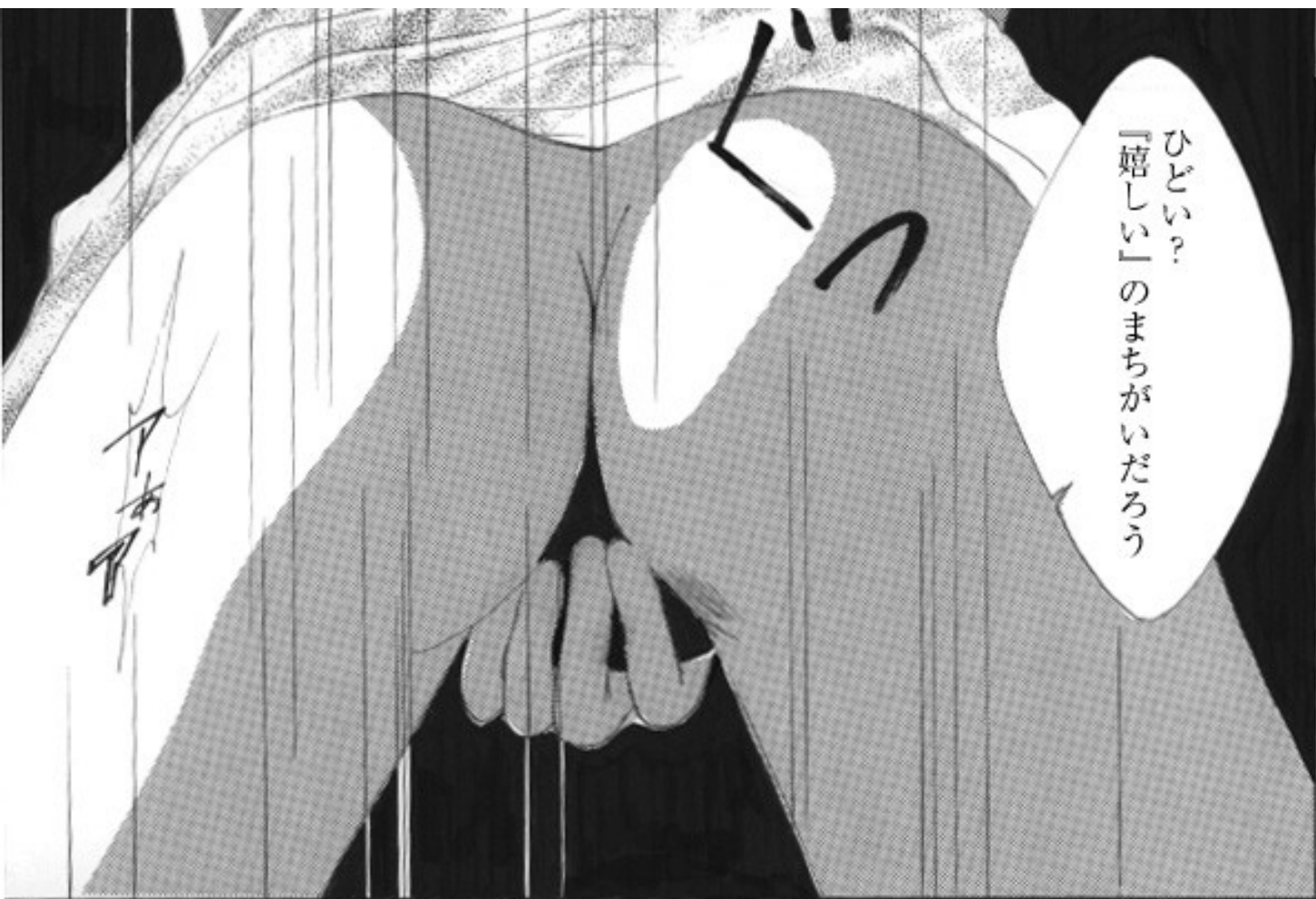
ヒソ

諒の部屋から…?

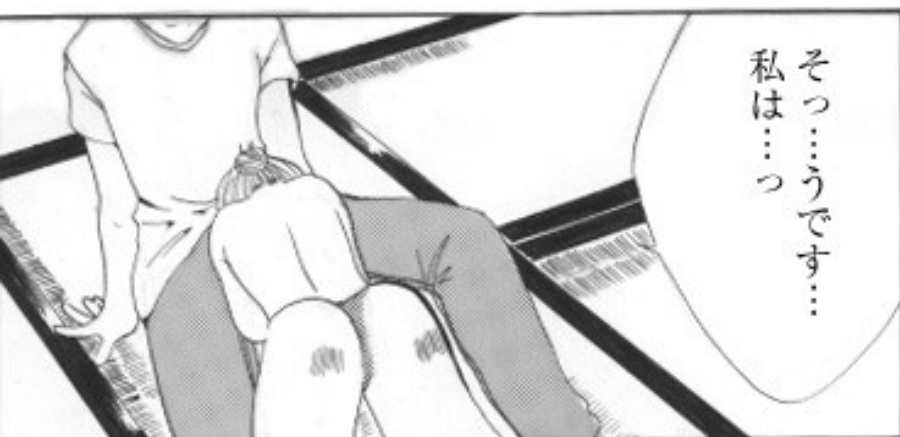
お母様?

どうして  
こんな処に?





ひどい？  
『嬉しい』のまちがいだろう



そっ…うです…  
私は…っ



いじめられる  
のが大好きな  
淫乱女…ですっ



本当はなじられる  
のが大好きな癖に

そうだろう？  
ほら何とか言えよ

な…

何なのよこれっ！

どうして諒と  
お母様が……！

ああ…

でも  
その前に…

——お嬢様  
いらつしやるん  
でしょう？

ばれてる…

覗きなんかして  
いないで見たいのなら  
中にどうぞ

…ど  
どうしよう！

りよお様……！  
わたしもうっ



私 諒相手に  
なにびびってんのよ!



...ま...い...?



...諒



教えてやれよ  
お前が

どんな女かを

どういう  
事よ...!



舞 お母様はね  
諒様の犬なの

諒様のおちんちんがないと  
生きていけないの

諒！ あんた  
お母様に何したのよ！

何も…

これがこの女の  
本性ですよ

ゆら…

それよりも  
お嬢様

スウ…

何よこれ！  
ほどいてっ

良家の子女が  
覗きなんていけませんよ

お仕置が必要ですね







お奥に  
あたってるう！





私は何故か目の前の痴態から目が離せなくなっていた



いや それどころかメス犬のように腰を振る母の事が...



うらやましく思えてきたのだ



さてとおしおきは  
これで終わりですよ



えっ

…うそっ



スル



スッ

いやあ 私にも

入れてえ

「何」を「どこ」に

私のあそこに

はあ

諒の  
おちんちん  
いれてえ

はあ

親子そろって  
色狂いか

クス

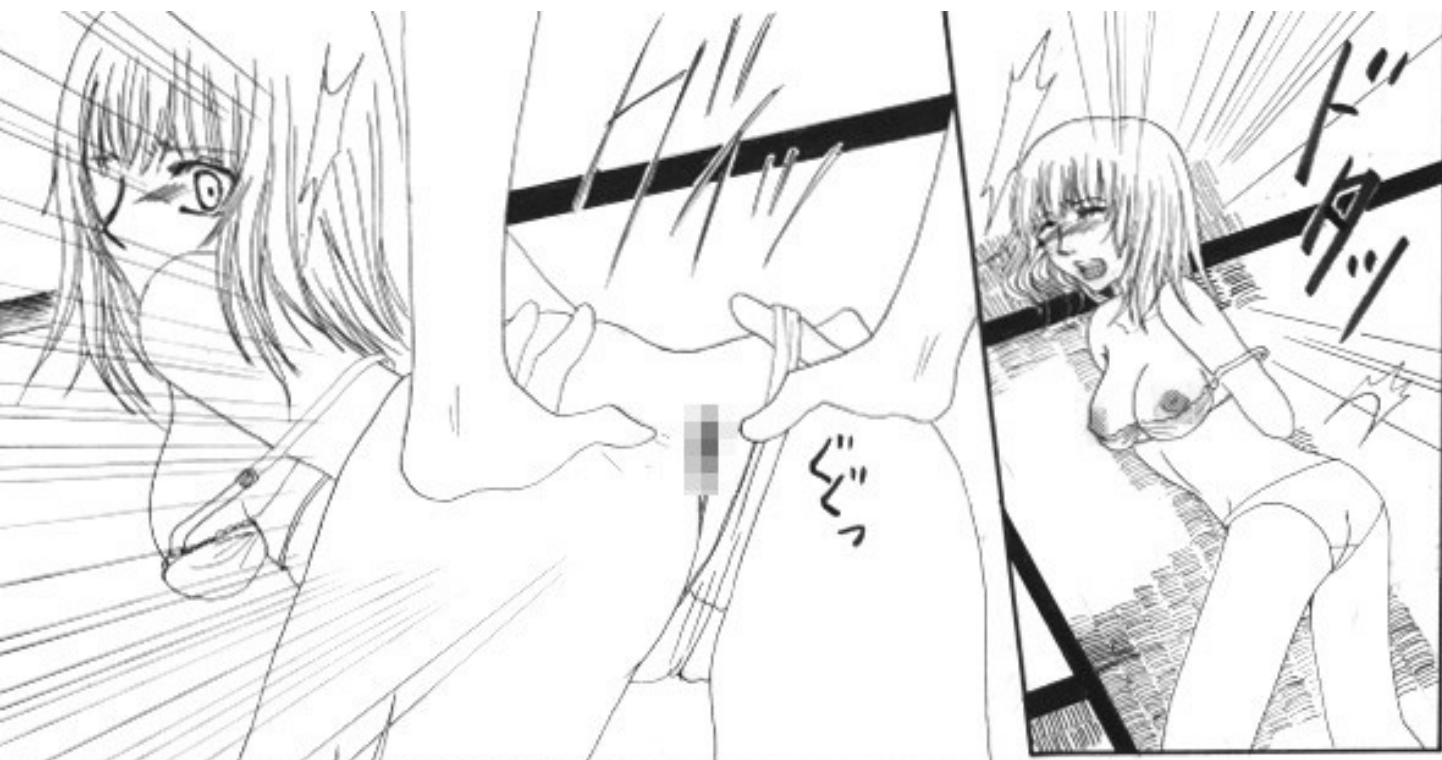
クス

おおせのとおりに

「お嬢様」

きゃあ！

ドバ



—こうして私は  
諒の犬になった

ああ

ああ  
はい